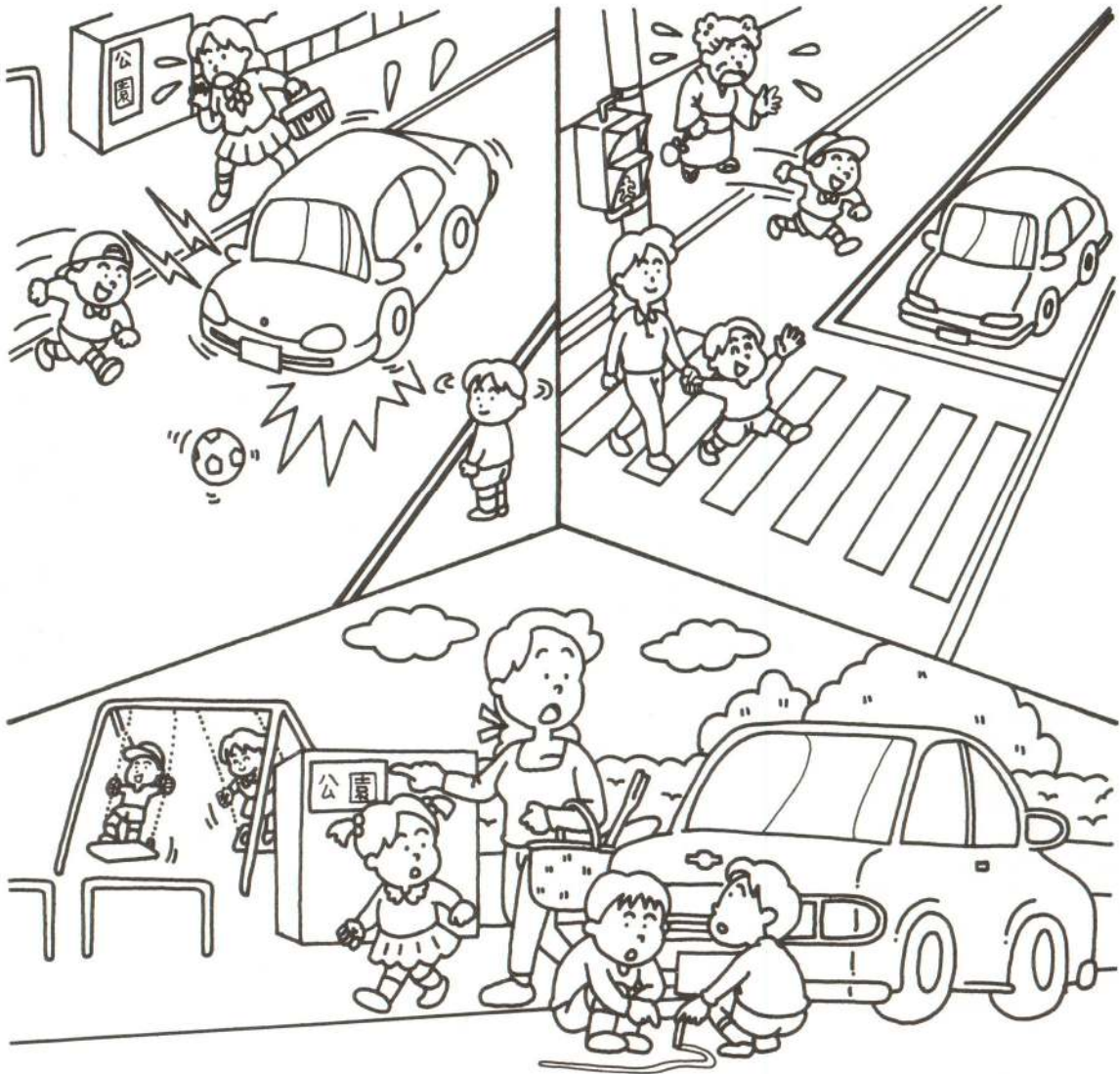


わすれないでね、交通安全



■子供を交通事故から守りましょう
■教えてあげて、「交通ルール」

新入学(園)児のいるご家庭では、お子さんが四月に学校や幼稚園、保育園へ行く日を指折り数えていたのではないのでしょうか。準備など何かと忙しかったと思いますが、忘れてはならないのが交通安全の教育です。

交通事故に遭わないために、何に注意しなければいけないのかをお子さんに教えてあげてください。幼い子供の事故は、防ぐことのできない災害とは違い、親の保護と教育で避けることができます。

さて、お子さんに交通安全を身につけてもらえるように、ぬり絵を作りました。親子でぬり絵をしながら、正しい道路の渡り方や信号の見方、道路ではいけないことなどを説明してあげてください。そして実際に通学路や通園路と一緒に歩いて、注意しなければならぬことを習慣になるまで何度も繰り返し教えてあげましょう。

★子供の交通事故の特徴

- ① 子供の交通事故の原因の大半は、道路への「飛び出し」と「車の直前・直後の横断」によるものです。
- ② 事故が多いのは、午後2時から6時までの時間帯です。
- ③ 自宅から事故発生地までの距離をみると、ほとんどが自宅から500メートル以内となっています。

❖ 広報おおだて 平成7年4月1日号(No.626)

発行/大館市 〒017秋田県大館市字中城20番地

☎ 0186-49-3111

編集/総務部総務課広報広聴係



広報おおだては再生紙を使用しています。

(表紙: 6年度で閉校した、雪沢中学校卒業式で)